

急性胆嚢炎に対する Bailout surgery

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、第 126 回日本外科学会定期学術集会にて医学研究として発表いたします。対象となる患者さんでご自身の診療情報の研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

研究期間： 2021 年 4 月～倫理委員会承認日～2026 年 3 月 31 日

【研究の目的・意義】

胆嚢炎に対して腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行する際に、重大な合併症が発生する可能性は未だ少なくありません。合併症を予防するために、ガイドラインでは Bailout surgery (BOS) という危険を回避するための手術手法が強く推奨されています。BOS の有用性を明らかにすることを目的に、当院で 2021 年 4 月から 2025 年 8 月までに急性胆嚢炎に対して施行した手術成績について比較検討致します。急性胆嚢炎に対して手術を行った患者様の手術成績について、すでに確認された情報を用いて検討したいと考えています。追加での採血や画像検査等はありません。

【対象となる方】

2021 年 4 月から 2025 年 8 月までに急性胆嚢炎に対して手術を施行した患者様を対象とします。

【研究機関名及び研究責任者（情報の管理について責任を有する者）】

りんくう総合医療センター 消化器外科 信藤 麻友

【調査項目】

患者背景, 手術成績

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんのでご安心ください。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

りんくう総合医療センター消化器外科 信藤 麻友

泉佐野市りんくう往来北 2-23 電話：072-469-3111 FAX：072-469-7929